

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	9,749	8,581	7,588
女性票	10,455	9,409	8,403
配偶者票（男性用）	2,328	2,126	1,344
配偶者票（女性用）	1,071	975	473
計	23,603	21,091	17,808

（参考）第1回からの男性票と女性票の調査客体数と回収客体数

調査回	調査票の種類	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	男性票	16,964	13,743	81.0%
	女性票	16,725	14,150	84.6%
	（計）	33,689	27,893	82.8%
第2回	男性票	14,809	11,910	80.4%
	女性票	14,874	12,483	83.9%
	（計）	29,683	24,393	82.2%
第3回	男性票	12,431	10,480	84.3%
	女性票	12,899	11,083	85.9%
	（計）	25,330	21,563	85.1%
第4回	男性票	10,908	9,509	87.2%
	女性票	11,517	10,207	88.6%
	（計）	22,425	19,716	87.9%
第5回	男性票	9,749	8,581	88.0%
	女性票	10,455	9,409	90.0%
	（計）	20,204	17,990	89.0%

8 利用上の注意

（1）表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

（2）この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

（3）この概況に掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

結果の概要

I 結婚の状況

1 独身者のこの4年間の結婚の状況

(1) 結婚の状況

第1回の独身者は、この4年間で、男性16.4%、女性21.6%が結婚した。

第1回の独身者のうち、男はこの1年間で4.0%が結婚し、この4年間で結婚したのは16.4%となった。女はこの1年間で5.5%が結婚し、この4年間では21.6%となった。男女とも、第1回の年齢が25～29歳の階級が結婚した割合が最も高く、男19.8%、女28.4%となっている。(表1、図1)

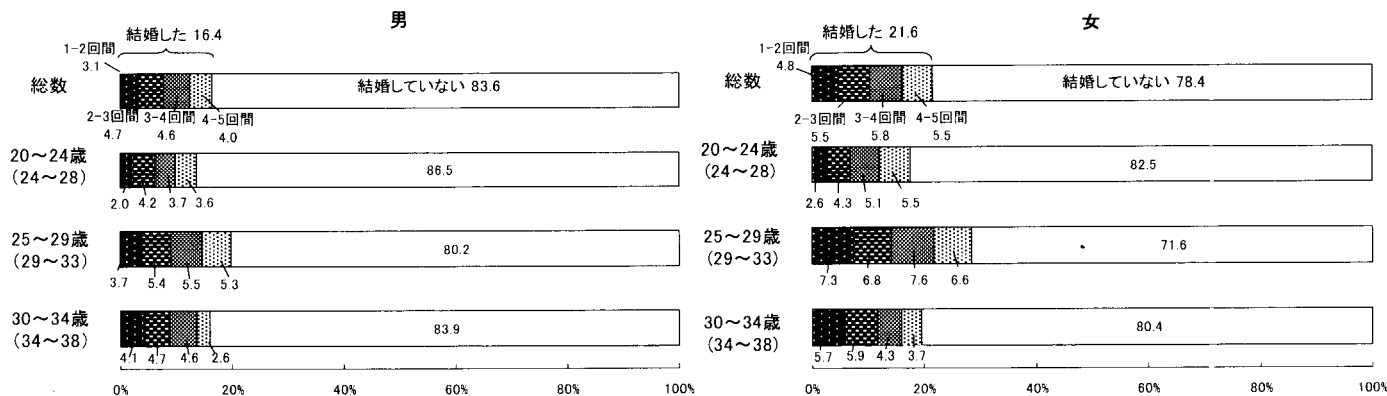
表1 性、年齢階級別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		第1回配偶者の有無		この4年間の結婚の状況							
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した					結婚していない	
					第1回から第2回間	第2回から第3回間	第3回から第4回間	第4回から第5回間			
第1回の年齢階級	男	(100.0)	100.0	33.5	65.2	10.7	2.0	3.1	3.0	2.6	54.5
	20～24歳(24～28)	(27.7)	100.0	4.8	94.0	12.7	1.9	4.0	3.5	3.4	81.2
	25～29歳(29～33)	(33.1)	100.0	27.9	70.5	14.0	2.6	3.8	3.9	3.7	56.6
	30～34歳(34～38)	(39.2)	100.0	58.4	40.5	6.5	1.7	1.9	1.9	1.0	34.0
()内は第5回	女	(100.0)	100.0	42.6	56.5	12.2	2.7	3.1	3.3	3.1	44.3
	20～24歳(24～28)	(28.1)	100.0	6.4	92.9	16.2	2.4	4.0	4.7	5.1	76.7
	25～29歳(29～33)	(31.7)	100.0	38.8	60.4	17.1	4.4	4.1	4.6	4.0	43.2
	30～34歳(34～38)	(40.3)	100.0	70.9	28.1	5.5	1.6	1.7	1.2	1.0	22.6

- 注：1) 集計対象は、第1回から第5回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 第1回配偶者の有無の総数には、配偶者の有無不詳を含む。
 4) []内は、第1回で配偶者なしであった者を総数としたこの4年間の結婚の状況である。
 5) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図1 独身者のこの4年間の結婚の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回から第5回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 年齢は、第1回の年齢である。()内は第5回の年齢である。
 4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

(2) 親との同居の有無別にみた状況

男女ともに、親と同居している場合よりも親と同居していない場合の方が、「結婚した」の割合が高い傾向がある。

第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の親との同居の有無別に、この4年間の結婚の状況をみた。親と同居していない場合は男22.2%、女24.2%が結婚しており、親と同居している場合には男15.7%、女21.2%が結婚している。

年齢階級が26～30歳では、親と同居していない場合に男27.0%、女34.6%が結婚しており、親と同居している場合には男17.4%、女24.3%が結婚している。(表2、図2)

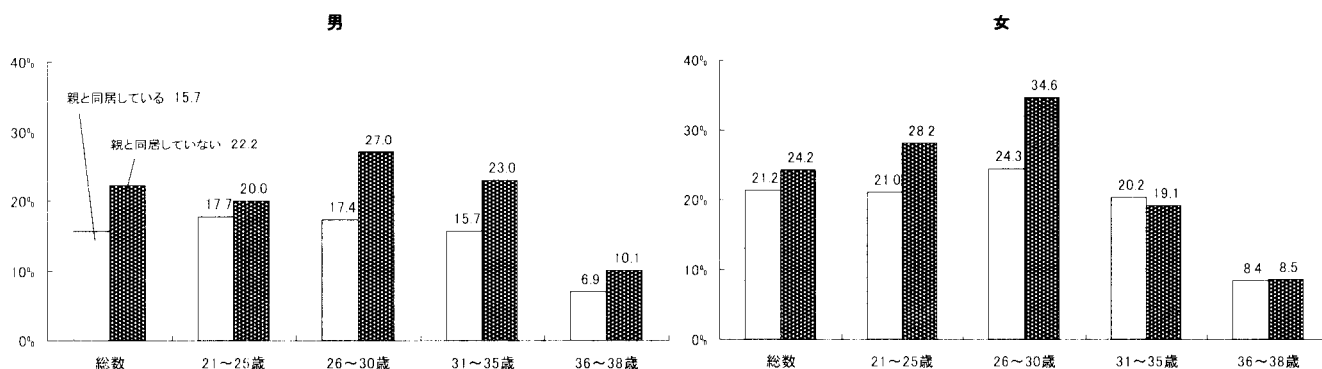
表2 性、年齢階級、親との同居の有無別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		男			女				
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない		
親との同居の有無	総数	(100.0)	100.0	16.4	83.6	(100.0)	100.0	21.6	78.4
	親と同居している	(76.8)	100.0	15.7	84.3	(82.2)	100.0	21.2	78.8
	親と同居していない	(14.4)	100.0	22.2	77.8	(13.1)	100.0	24.2	75.8
	21～25歳	(100.0)	100.0	17.6	82.4	(100.0)	100.0	21.4	78.6
	親と同居している	(77.4)	100.0	17.7	82.3	(84.2)	100.0	21.0	79.0
	親と同居していない	(12.8)	100.0	20.0	80.0	(11.0)	100.0	28.2	71.8
	26～30歳	(100.0)	100.0	18.7	81.3	(100.0)	100.0	25.5	74.5
	親と同居している	(77.7)	100.0	17.4	82.6	(85.7)	100.0	24.3	75.7
	親と同居していない	(13.5)	100.0	27.0	73.0	(10.1)	100.0	34.6	65.4
	31～35歳	(100.0)	100.0	16.1	83.9	(100.0)	100.0	20.2	79.8
	親と同居している	(76.4)	100.0	15.7	84.3	(78.3)	100.0	20.2	79.8
	親と同居していない	(15.5)	100.0	23.0	77.0	(16.9)	100.0	19.1	80.9
	36～38歳	(100.0)	100.0	8.0	92.0	(100.0)	100.0	8.2	91.8
	親と同居している	(74.4)	100.0	6.9	93.1	(72.8)	100.0	8.4	91.6
親と同居していない	(16.5)	100.0	10.1	89.9	(21.3)	100.0	8.5	91.5	

- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第5回の年齢である。
 3) 親との同居の有無は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。
 4) 「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう。
 5) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。
 6) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
 7) 総数、各年齢階級の総数には、親との同居の有無不詳を含む。

図2 親との同居の有無別にみたこの4年間に結婚した割合



- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である
 2) 年齢は、結婚後の年齢である
 3) 親との同居の有無は、結婚前の状況である
 4) 「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう
 5) この4年間に結婚した後離婚した者を含む
 6) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している

(3) 仕事の有無、一週間の就業時間別にみた状況

男性は、仕事が正規の場合 18.0%、非正規の場合 9.1%が、この4年間に結婚した。

第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の仕事の有無別にこの4年間の結婚の状況をみた。

男は「仕事あり」の17.8%、「仕事なし」の6.2%が結婚した。仕事ありのうち、就業形態の正規・非正規別では、「正規」で18.0%、「非正規」で9.1%と、8.9ポイントの差がある。

また、女の、仕事の有無や就業形態別にみた結婚の状況は、男のような大きな違いはみられない。(表3、図3)

表3 性、仕事の有無別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		総数		結婚した	結婚していない
仕事の有無	男	(100.0)	100.0	16.4	83.6
	仕事あり	(87.5)	100.0	17.8	82.2
	(再掲) 正規	(58.9)	100.0	18.0	82.0
	(再掲) 非正規	(16.5)	100.0	9.1	90.9
	仕事なし	(12.4)	100.0	6.2	93.8
	女	(100.0)	100.0	21.6	78.4
	仕事あり	(89.2)	100.0	21.6	78.4
	(再掲) 正規	(52.9)	100.0	21.6	78.4
	(再掲) 非正規	(30.8)	100.0	19.1	80.9
仕事なし	(10.7)	100.0	21.1	78.9	

注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

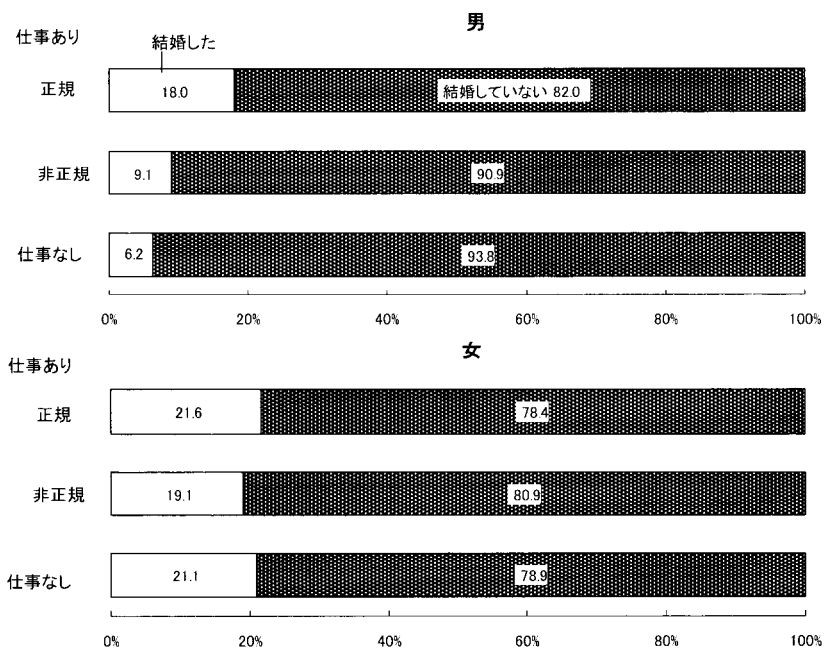
2) 仕事の有無、就業形態は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。

3) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 「男」「女」には、仕事の有無不詳を含む。

図3 仕事の有無別にみたこの4年間の結婚の状況



注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

2) 仕事の有無、就業形態は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。

3) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

さらに、仕事ありであった者について、一週間の就業時間別にこの4年間の結婚の状況をみると、男は40時間以上が、40時間未満よりも「結婚した」の割合が高い。また、女は就業時間による違いはみられない。(表4)

表4 性、一週間の就業時間別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		総数		結婚した	結婚していない
一週間の就業時間	男	(100.0)	100.0	17.8	82.2
	15時間未満	(3.1)	100.0	7.5	92.5
	15～34時間	(4.5)	100.0	7.6	92.4
	35～39時間	(3.9)	100.0	10.2	89.8
	40～48時間	(47.6)	100.0	18.2	81.8
	49～59時間	(17.9)	100.0	17.5	82.5
	60時間以上	(16.5)	100.0	21.5	78.5
	女	(100.0)	100.0	21.6	78.4
	15時間未満	(4.0)	100.0	21.2	78.8
	15～34時間	(8.0)	100.0	16.0	84.0
	35～39時間	(10.3)	100.0	25.4	74.6
	40～48時間	(51.2)	100.0	20.8	79.2
	49～59時間	(12.7)	100.0	16.9	83.1
60時間以上	(5.9)	100.0	23.5	76.5	

注:1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者で、「結婚した」は結婚前に、

「結婚していない」は第4回に仕事ありの者である。

2) 一週間の就業時間は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。

3) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 「男」「女」には、一週間の就業時間不詳を含む。

(4) 結婚の状況別にみた就業状況の変化

女性は 44.5%が結婚後も同一就業を継続し、28.7%が離職をしている。男性は 72.0%が結婚後も同一就業を継続している。

第 1 回の独身者について、この 4 年間の結婚の状況別に、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」はこの 1 年間の就業状況の変化をみた。

結婚した場合の「同一就業継続」は、男 72.0%、女 44.5%、「離職」は、男 1.4%、女 28.7%、結婚していない場合の「同一就業継続」は、男 68.7%、女 68.9%、「離職」は、男 3.1%、女 5.0%となっている。(表 5、図 4)

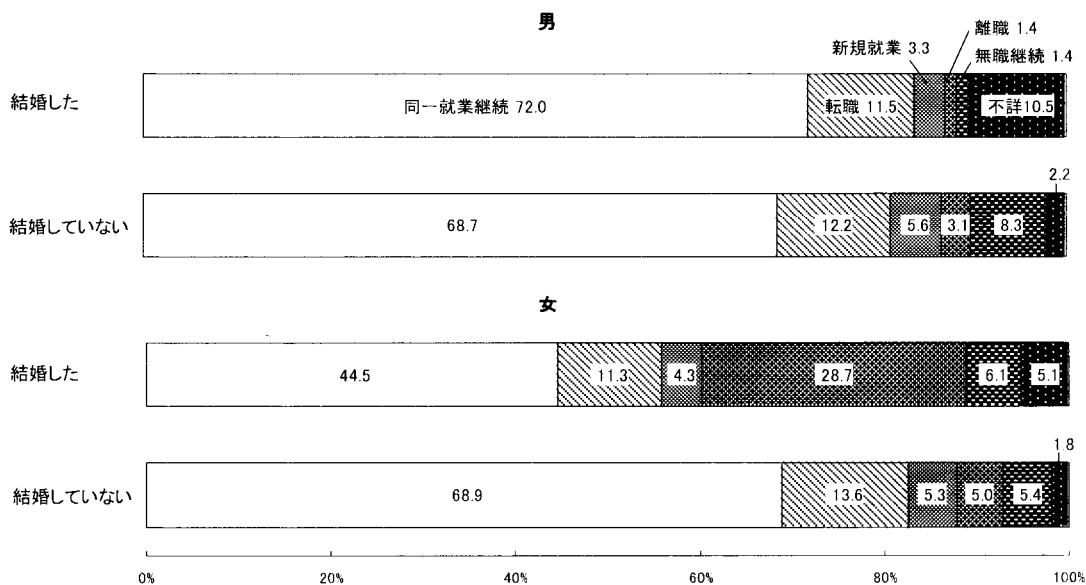
表 5 性、この 4 年間の結婚の状況、年齢階級別にみた就業状況の変化

(単位：%)

	総数	同一就業継続			転職			新規就業	離職	無職継続	不詳		
		(再掲) 正規	(再掲) 非正規		(再掲) 正規から非正規	(再掲) 非正規から正規							
男	結婚した	(100.0)	100.0	72.0	59.5	4.4	11.5	0.6	2.6	3.3	1.4	1.4	10.5
	21～25歳	(18.5)	100.0	59.3	48.0	4.7	11.3	0.7	2.0	9.3	3.3	2.7	14.0
	26～30歳	(45.4)	100.0	71.2	60.6	3.5	12.0	0.5	3.0	2.7	0.8	1.4	12.0
	31～35歳	(30.1)	100.0	80.7	64.3	6.6	9.8	0.8	2.5	1.2	0.8	0.8	6.6
	36～38歳	(5.9)	100.0	72.9	62.5		16.7		2.1		2.1		8.3
	結婚していない	(100.0)	100.0	68.7	51.7	9.8	12.2	1.6	2.5	5.6	3.1	8.3	2.2
	24～25歳	(17.1)	100.0	55.3	39.1	12.0	16.5	1.6	4.5	11.3	4.2	11.6	1.1
	26～30歳	(38.8)	100.0	68.6	51.3	11.5	13.3	1.9	2.6	5.7	3.0	7.2	2.2
31～35歳	(30.8)	100.0	74.1	57.7	7.5	10.4	1.6	1.6	3.5	2.6	7.1	2.2	
36～38歳	(13.4)	100.0	73.6	55.5	7.2	8.0	0.7	1.8	2.7	3.1	9.6	3.1	
女	結婚した	(100.0)	100.0	44.5	31.5	10.7	11.3	3.1	1.4	4.3	28.7	6.1	5.1
	21～25歳	(20.9)	100.0	39.7	31.3	8.4	13.6	3.3	0.9	2.3	33.6	7.9	2.8
	26～30歳	(50.6)	100.0	43.1	31.9	9.3	11.2	2.9	1.5	5.0	29.5	5.6	5.6
	31～35歳	(25.0)	100.0	51.2	31.6	15.6	10.2	3.1	1.6	4.7	23.4	5.1	5.5
	36～38歳	(3.5)	100.0	47.2	27.8	11.1	8.3	5.6	-	2.8	25.0	8.3	8.3
	結婚していない	(100.0)	100.0	68.9	46.5	20.0	13.6	2.0	2.2	5.3	5.0	5.4	1.8
	24～25歳	(21.1)	100.0	66.2	45.7	19.6	15.7	2.9	2.8	5.9	5.0	5.5	1.8
	26～30歳	(40.8)	100.0	67.5	46.1	19.2	15.7	2.2	2.7	5.4	5.2	4.8	1.4
31～35歳	(27.2)	100.0	72.4	48.1	20.9	10.0	1.5	1.5	4.8	4.8	5.8	2.2	
36～38歳	(10.9)	100.0	71.1	46.2	21.0	11.1	0.7	0.7	4.7	4.7	6.2	2.2	

注：1) 集計対象は、第 1 回独身で第 5 回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第 5 回の年齢である。
 3) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第 4 回から第 5 回にかけての就業状況の変化である。
 4) 4 年間で 2 回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図 4 この 4 年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化



注：1) 集計対象は、第 1 回独身で第 5 回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第 4 回から第 5 回にかけての就業状況の変化である。
 3) 4 年間で 2 回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

(5) 所得額別にみたこの2年間の結婚の状況

男女ともに、「400～500万円未満」で「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。

第3回の独身者について、「結婚した」は、第3回から第4回間の結婚は平成15年中、第4回から第5回間の結婚は平成16年中の、「結婚していない」は平成16年中の所得額階級別に、この2年間の結婚の状況をみた。

男女ともに、「400～500万円未満」で「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向があり、特に、男では、最も低い「100万円未満」で4.4%、最も高い「400～500万円未満」で13.4%と、9.0ポイントの差がある。(表6、図5)

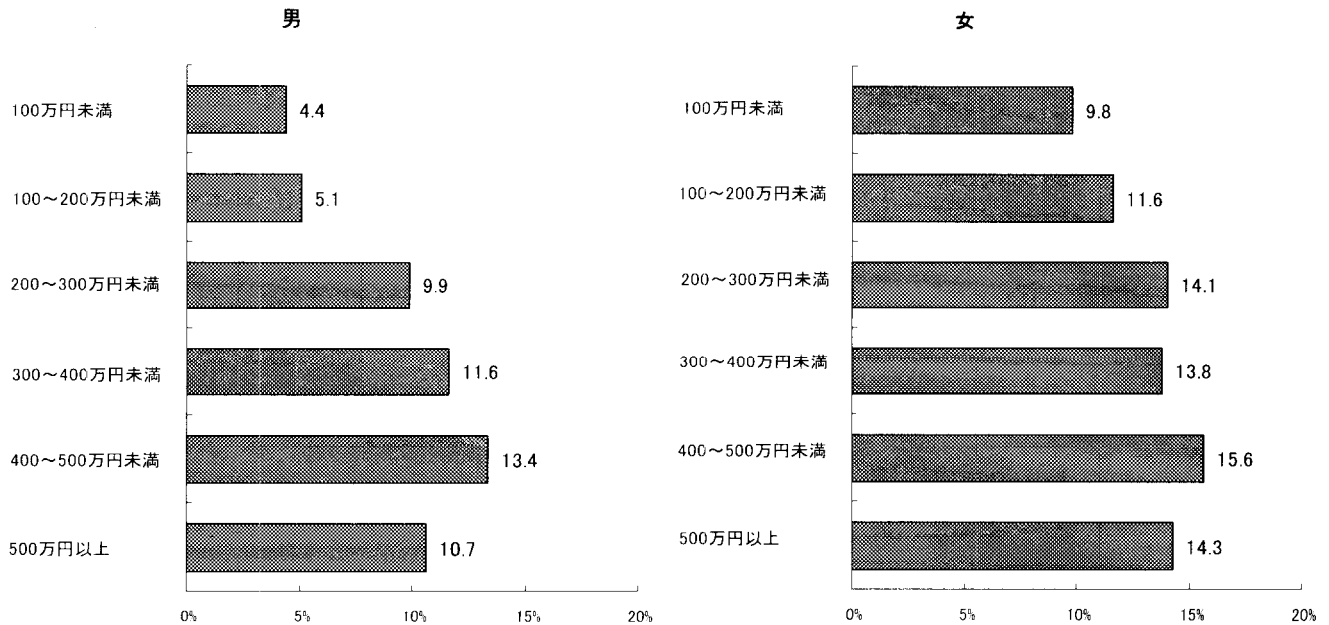
表6 性、所得額階級別にみたこの2年間の結婚の状況

		男				女			
		総数	結婚した	結婚していない	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない	
所得額	総数	(100.0)	100.0	9.1	90.9	(100.0)	100.0	12.5	87.5
	100万円未満	(14.4)	100.0	4.4	95.6	(13.6)	100.0	9.8	90.2
	100～200万円未満	(12.0)	100.0	5.1	94.9	(23.7)	100.0	11.6	88.4
	200～300万円未満	(20.9)	100.0	9.9	90.1	(28.2)	100.0	14.1	85.9
	300～400万円未満	(21.5)	100.0	11.6	88.4	(15.8)	100.0	13.8	86.2
	400～500万円未満	(11.8)	100.0	13.4	86.6	(5.7)	100.0	15.6	84.4
	500万円以上	(7.4)	100.0	10.7	89.3	(3.0)	100.0	14.3	85.7

(単位：%)

- 注：1) 集計対象は、第3回独身で第5回まで回答を得られている者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 所得額は、1年間の「働いて得た所得」と「その他の所得」の合計金額である。
 3) 所得額は、「結婚した」は、第3回から第4回間の結婚は平成15年中、第4回から第5回間の結婚は平成16年中の、「結婚していない」は平成16年中の状況である。
 4) 総数には、所得額不詳を含む。
 5) 2年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図5 所得額階級別にみたこの2年間に「結婚した」者



- 注：1) 集計対象は、第3回独身で第5回まで回答を得られている者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 所得額は、1年間の「働いて得た所得」と「その他の所得」の合計金額である。
 3) 所得額は、第3回から第4回間の結婚は平成15年中、第4回から第5回間の結婚は平成16年中の状況である。
 4) 2年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

2 仕事をしてきた女性の結婚後の就業継続の有無

(1) 年齢階級別にみた状況

女性は、仕事が正規の場合 57.7%、非正規の場合 39.4%が、結婚後も同一就業を継続している。

表5のうち、この4年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について結婚後の就業継続の有無をみると、「同一就業継続」は49.8%、「転職」は12.7%、「離職」は32.1%となっている。

また、就業形態別にみると、「正規」では57.7%、「非正規」では39.4%が「同一就業継続」となっている。「非正規」では、「離職」が39.8%となっており、21～25歳では、約半数が離職している。

(表7、図6)

表7 年齢階級別にみた女性の就業継続の有無

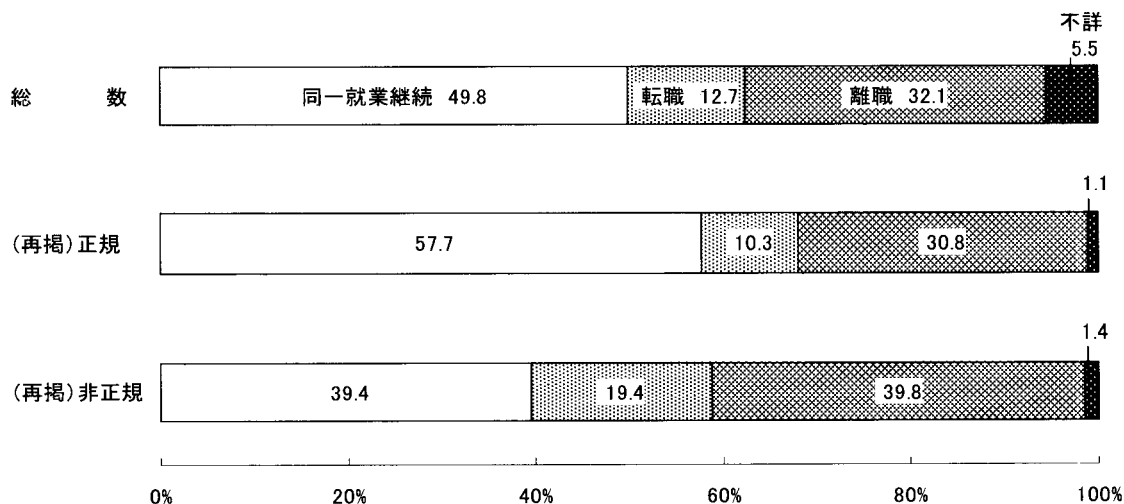
		総数	同一就業 継続	転職		離職	不詳		
				総数	(再掲) 正規へ			(再掲) 非正規へ	
結婚後 (再掲) の年齢 階級 結婚前 の正規 ・非 正規	総数	(100.0)	100.0	49.8	12.7	3.6	8.1	32.1	5.5
	21～25歳	(20.9)	100.0	44.5	15.2	4.7	9.4	37.7	2.6
	26～30歳	(50.4)	100.0	48.3	12.6	3.2	8.0	33.1	6.1
	31～35歳	(25.2)	100.0	56.7	11.3	3.9	6.9	26.0	6.1
	36～38歳	(3.5)	100.0	53.1	9.4	-	9.4	28.1	9.4
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	57.7	10.3	3.0	5.9	30.8	1.1
	21～25歳	(22.0)	100.0	54.6	13.4	5.9	5.9	31.9	-
	26～30歳	(51.5)	100.0	57.7	9.0	1.8	5.4	31.9	1.4
	31～35歳	(23.2)	100.0	61.1	10.3	3.2	6.3	27.0	1.6
	36～38歳	(3.3)	100.0	55.6	11.1	-	11.1	33.3	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	39.4	19.4	5.0	14.0	39.8	1.4
	21～25歳	(21.5)	100.0	30.0	21.7	3.3	18.3	48.3	-
	26～30歳	(50.2)	100.0	34.3	20.7	5.7	14.3	43.6	1.4
	31～35歳	(26.2)	100.0	54.8	16.4	5.5	11.0	26.0	2.7
36～38歳	(2.2)	100.0	66.7	-	-	-	33.3	-	

注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られ、この4年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。

ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

2) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図6 女性の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られ、この4年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。

ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

2) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3) 「正規」「非正規」は、結婚前の状況である。

(2) 1年前の「結婚後の就業継続意欲」別にみた状況

1年前に、仕事を「結婚した後も続ける」と考えていた女性の72.9%が、結婚後も同一就業を継続している。

第1回から第4回までの独身者について、この1年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について、第4回の結婚後の就業継続意欲別に就業継続の有無をみた。

1年前に、仕事を「結婚した後も続ける」と考えていた女性の72.9%が、結婚後も「同一就業継続」となっている。

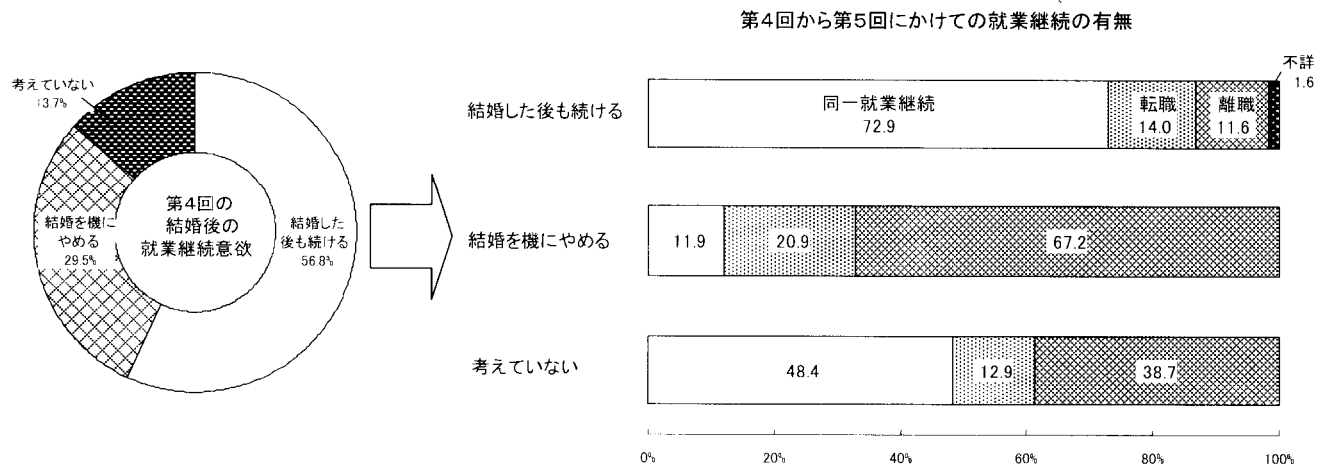
また、就業形態別にみると、「正規」では80.5%、「非正規」では65.0%が「同一就業継続」となっている。(表8、図7)

表8 第4回の結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の有無

		総数		同一就業継続	転職			離職	不詳
					総数	(再掲) 正規へ	(再掲) 非正規へ		
第4回(再掲)結婚前の就業継続意欲・非正規	総数	(100.0)	100.0	51.5	15.9	4.0	10.6	31.7	0.9
	結婚した後も続ける	(56.8)	100.0	72.9	14.0	4.7	8.5	11.6	1.6
	結婚を機にやめる	(29.5)	100.0	11.9	20.9	4.5	14.9	67.2	-
	考えていない	(13.7)	100.0	48.4	12.9	-	9.7	38.7	-
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	58.3	12.2	2.9	7.9	29.5	-
	結婚した後も続ける	(59.0)	100.0	80.5	8.5	1.2	6.1	11.0	-
	結婚を機にやめる	(30.9)	100.0	11.6	20.9	7.0	11.6	67.4	-
	考えていない	(10.1)	100.0	71.4	7.1	-	7.1	21.4	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	42.9	18.2	3.9	13.0	37.7	1.3
	結婚した後も続ける	(51.9)	100.0	65.0	17.5	7.5	10.0	15.0	2.5
	結婚を機にやめる	(27.3)	100.0	9.5	19.0	-	19.0	71.4	-
	考えていない	(20.8)	100.0	31.3	18.8	-	12.5	50.0	-

注：集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

図7 第4回の結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の有無



注：集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

結婚を考えている相手や家族が退職することを望んだり、あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気があるということがあった女性では、「同一就業継続」が35.3%、「離職」が55.9%となっている。

第4回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別に、就業継続の有無をみると、「結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる」あるいは「会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある」ということがあった場合、「同一就業継続」が35.3%、「離職」が55.9%となっている。

また、「結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる」、「会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある」ということがいずれもなかった場合、「同一就業継続」が54.2%、「離職」が27.6%となっている。(表9、図8)

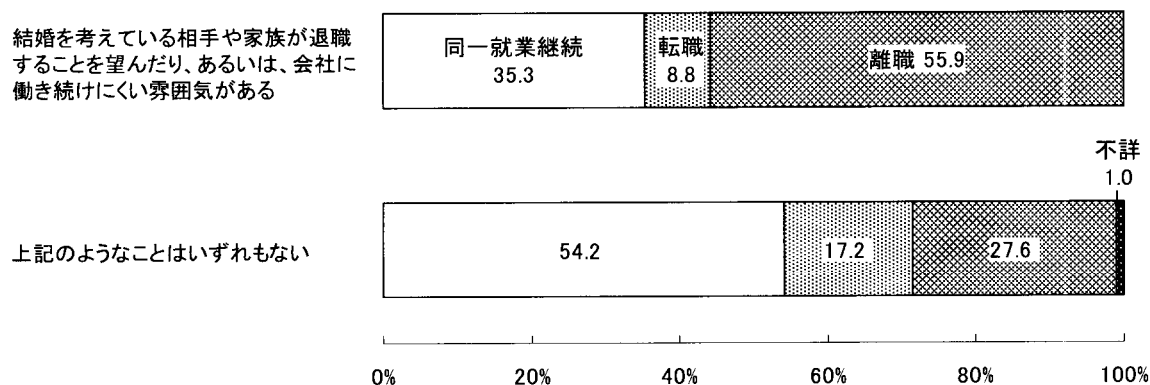
表9 第4回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた女性の就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	
第4回の 家族の考え方や 会社の雰囲気	総数	(100.0)	100.0	51.5	15.9	31.7
	結婚を考えている相手や家族が退職することを望んだり、 あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気がある	(15.0)	100.0	35.3	8.8	55.9
	上記のようなことはいずれもない	(84.6)	100.0	54.2	17.2	27.6

注：1) 集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
2) 総数には、結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気不詳、就業継続の有無不詳を含む。

図8 第4回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた女性の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

II 夫婦における子どもの出生の状況

1 この4年間の出生の状況

(1) 出生の状況

この4年間に、第1回からの夫婦の33.2%、第2回からの夫婦の70.7%、第3回からの夫婦の52.5%、第4回からの夫婦の39.3%に子どもが生まれた。

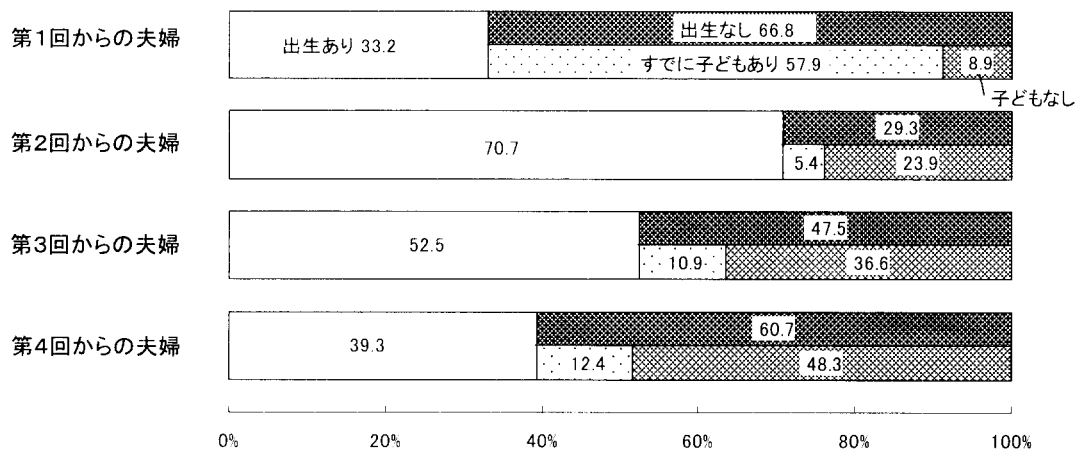
この1年間に、第1回からの夫婦の5.5%、第2回からの夫婦の20.0%、第3回からの夫婦の21.8%、第4回からの夫婦の39.3%に子どもが生まれ、この4年間では、それぞれ33.2%、70.7%、52.5%、39.3%の夫婦に1人以上の子どもが生まれた。(表10、図9)

表10 妻の年齢階級別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	この4年間に出生あり															この4年間に出生なし		
		第1回から第2回間に出生			第2回から第3回間に出生			第3回から第4回間に出生			第4回から第5回間に出生			総数	すでに子どもあり	子どもなし			
		総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降						
第1回からの夫婦	(100.0)	100.0	33.2	12.8	3.8	9.0	11.1	2.1	9.0	8.1	1.1	7.0	5.5	0.5	5.0	66.8	57.9	8.9	
21～25歳	(0.4)	100.0	16.2	15.4	7.7	7.7	23.1	7.7	15.4	15.4	-	15.4	-	-	53.8	30.8	23.1		
26～30歳	(9.0)	100.0	59.2	18.7	5.6	13.0	23.6	5.3	18.3	15.5	2.5	13.0	12.0	0.7	11.3	40.8	33.1	7.7	
31～35歳	(15.5)	100.0	12.5	16.1	5.6	10.5	14.7	3.3	11.5	10.2	1.7	8.5	7.4	0.8	6.5	57.5	48.7	8.8	
36歳以上	(45.2)	100.0	18.5	8.2	1.5	6.8	5.5	1.0	1.5	1.5	0.3	1.3	2.3	0.1	2.2	81.5	72.4	9.1	
第2回からの夫婦	(100.0)	100.0	70.7	-	-	36.6	35.6	1.0	24.9	20.5	1.4	20.0	10.7	9.3	29.3	5.4	23.9		
21～25歳	(3.9)	100.0	75.0	-	-	62.5	62.5	-	25.0	12.5	12.5	25.0	-	25.0	25.0	12.5	12.5		
26～30歳	(12.0)	100.0	76.7	-	-	13.0	11.9	1.2	23.3	17.4	5.8	25.6	9.3	16.3	23.3	7.0	16.3		
31～35歳	(12.0)	100.0	65.1	-	-	29.1	29.1	-	25.6	23.3	2.3	11.0	11.6	2.3	34.9	3.5	31.4		
36歳以上	(12.2)	100.0	68.0	-	-	32.0	28.0	1.0	28.0	21.0	4.0	20.0	16.0	1.0	32.0	4.0	28.0		
第3回からの夫婦	(100.0)	100.0	52.5	-	-	-	-	-	31.9	29.8	2.1	21.8	13.9	8.0	47.5	10.9	36.6		
21～25歳	(10.1)	100.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	29.2	12.5	16.7	50.0	29.2	20.8		
26～30歳	(17.9)	100.0	52.6	-	-	-	-	-	34.2	32.5	1.8	20.2	14.0	6.1	47.4	12.3	35.1		
31～35歳	(32.8)	100.0	56.4	-	-	-	-	-	32.1	29.5	2.6	21.4	15.4	9.0	43.6	2.6	41.0		
36歳以上	(9.2)	100.0	40.9	-	-	-	-	-	27.3	22.7	1.5	13.6	9.1	4.5	59.1	13.6	45.5		
第4回からの夫婦	(100.0)	100.0	39.3	-	-	-	-	-	-	-	-	39.3	37.5	1.9	60.7	12.4	48.3		
21～25歳	(10.9)	100.0	18.3	-	-	-	-	-	-	-	-	48.3	48.3	-	51.7	17.2	34.5		
26～30歳	(53.2)	100.0	39.4	-	-	-	-	-	-	-	-	39.4	37.3	2.1	60.6	10.6	50.0		
31～35歳	(28.5)	100.0	35.5	-	-	-	-	-	-	-	-	35.5	32.9	2.6	64.5	13.2	51.3		
36歳以上	(7.5)	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	40.0	-	60.0	15.0	45.0		

注：1) 集計対象は、(1)または(2)に該当する夫婦である。
 ① 第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ② 第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 「出生あり」とは、夫・妻双方から回答を得てからの出生である。

図9 この4年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、(1)または(2)に該当する夫婦である。
 ① 第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ② 第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 「出生あり」とは、夫・妻双方から回答を得てからの出生である。

(2) 妻の仕事の有無別にみた状況

子どもがいなかった夫婦は、妻の仕事が正規の場合の43.9%に第1子が生まれている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の妻の仕事の有無別に、この4年間の出生の状況をみた。

「仕事あり」で就業形態が「正規」の場合37.3%、「非正規」の場合19.3%、「仕事なし」の場合38.6%に子どもが生まれている。また、子ども数にかかわらず、「非正規」の場合に子どもが生まれている割合が低い。(表11、図10)

表11 妻の仕事の有無別にみたこの4年間の出生の状況

		(単位：%)												
		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
妻の 仕事 の有無	総数	(100.0)	100.0	31.4	68.6	100.0	38.2	61.8	100.0	52.9	47.1	100.0	14.9	85.1
	仕事あり	(60.2)	100.0	26.6	73.4	100.0	38.8	61.2	100.0	45.6	54.4	100.0	10.7	89.3
	(再掲) 正規	(19.7)	100.0	37.3	62.7	100.0	43.9	56.1	100.0	57.6	42.4	100.0	13.8	86.2
	(再掲) 非正規	(31.6)	100.0	19.3	80.7	100.0	32.3	67.7	100.0	33.8	66.2	100.0	7.9	92.1
	仕事なし	(39.7)	100.0	38.6	61.4	100.0	36.8	63.2	100.0	59.4	40.6	100.0	21.5	78.5

注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

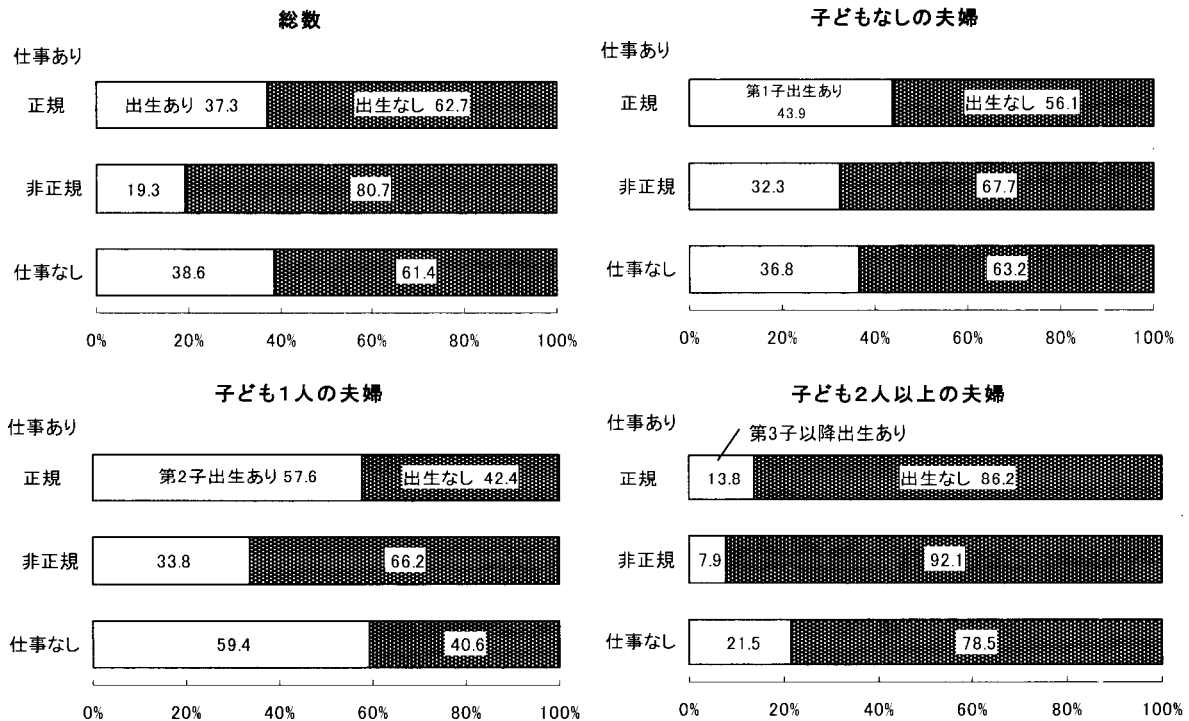
2) 仕事の有無、就業形態は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、仕事の有無不詳を含む。

図10 妻の仕事の有無別にみたこの4年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 仕事の有無、就業形態は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(3) 妻の職場における育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況

子どもが1人いる夫婦では、妻の職場に育児休業制度がある場合45.5%、制度がない場合28.0%に第2子が生まれている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めていた夫婦について、妻の職場の利用可能な育児休業制度の有無別に、この3年間の出生の状況をみた。

妻の職場に、育児休業の「制度あり」で、「第1子出生あり」は34.3%、「第2子出生あり」では45.5%、「第3子以降出生あり」では10.9%となっており、「制度なし」では、それぞれ31.2%、28.0%、5.2%となっている。(表12、図11)

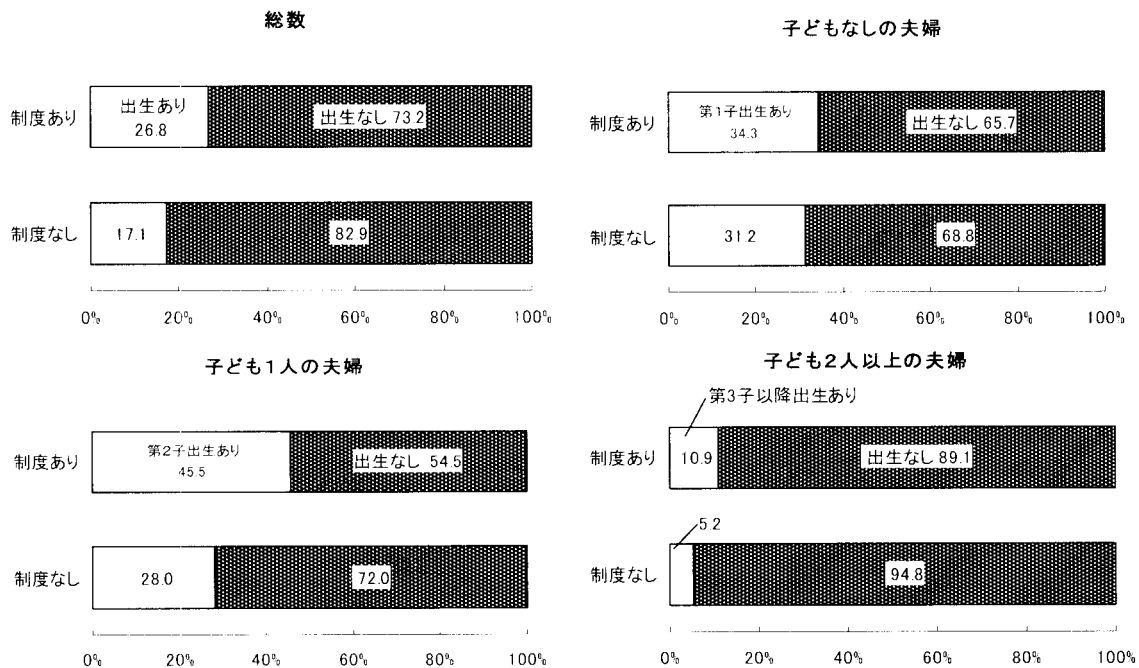
表12 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
妻の職場の育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	20.9	79.1	100.0	32.8	67.2	100.0	34.8	65.2	100.0	7.3	92.7
	制度あり	(38.6)	100.0	26.8	73.2	100.0	34.3	65.7	100.0	45.5	54.5	100.0	10.9	89.1
	利用しやすい雰囲気がある	(18.0)	100.0	31.1	68.9	100.0	10.8	89.2	100.0	50.0	50.0	100.0	13.1	86.6
	利用しにくい雰囲気がある	(8.2)	100.0	23.1	76.6	100.0	34.8	65.2	100.0	38.1	61.9	100.0	3.7	96.3
	どちらともいえない	(9.9)	100.0	25.9	74.1	100.0	26.1	73.9	100.0	47.1	52.9	100.0	14.9	85.1
	制度なし	(32.9)	100.0	17.1	82.9	100.0	31.2	68.8	100.0	28.0	72.0	100.0	5.2	94.8
	制度があるかわからない	(21.4)	100.0	16.3	83.7	100.0	29.7	70.3	100.0	27.6	72.4	100.0	6.1	93.9

(単位：%)

注：①集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めていた夫婦で、育児休業制度の有無が得られている夫婦
 ④育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である
 ⑤「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である
 ⑥3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している
 ⑦総数には、育児休業制度の有無不詳を含む

図11 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況



注：①集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めていた夫婦で、育児休業制度の有無が得られている夫婦
 ④育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である
 ⑤「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である
 ⑥3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している

(4) 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長い方が第2子以降の生まれる割合が高くなっている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の夫の休日の家事・育児時間別に、この4年間の出生の状況をみた。

子ども1人の夫婦では、「家事・育児時間なし」で20.5%、「8時間以上」で63.2%に第2子が生まれている。また、子どもがいる夫婦全体でみると、「家事・育児時間なし」で7.5%、「8時間以上」で40.1%に第2子以降が生まれており、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれている割合が高くなっている。(表13、図12)

表13 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの4年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫の 家事・ 育児 時間	総数	(100.0)	100.0	31.5	68.5	100.0	38.1	61.9	100.0	53.0	47.0	100.0	15.0	85.0
	家事・育児時間なし	(8.9)	100.0	25.7	74.3	100.0	39.3	60.7	100.0	20.5	79.5	100.0	1.1	98.9
	2時間未満	(26.9)	100.0	27.2	72.8	100.0	37.9	62.1	100.0	35.9	64.1	100.0	8.7	91.3
	2～4時間未満	(21.4)	100.0	27.4	72.6	100.0	34.6	65.4	100.0	51.2	48.8	100.0	11.7	88.3
	4～6時間未満	(13.6)	100.0	34.4	65.6	100.0	45.5	54.5	100.0	56.3	43.8	100.0	19.6	80.4
	6～8時間未満	(5.9)	100.0	39.1	60.9	100.0	50.0	50.0	100.0	63.8	36.2	100.0	17.4	82.6
	8時間以上	(19.3)	100.0	40.3	59.7	100.0	55.6	44.4	100.0	63.2	36.8	100.0	24.4	75.6

注:1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

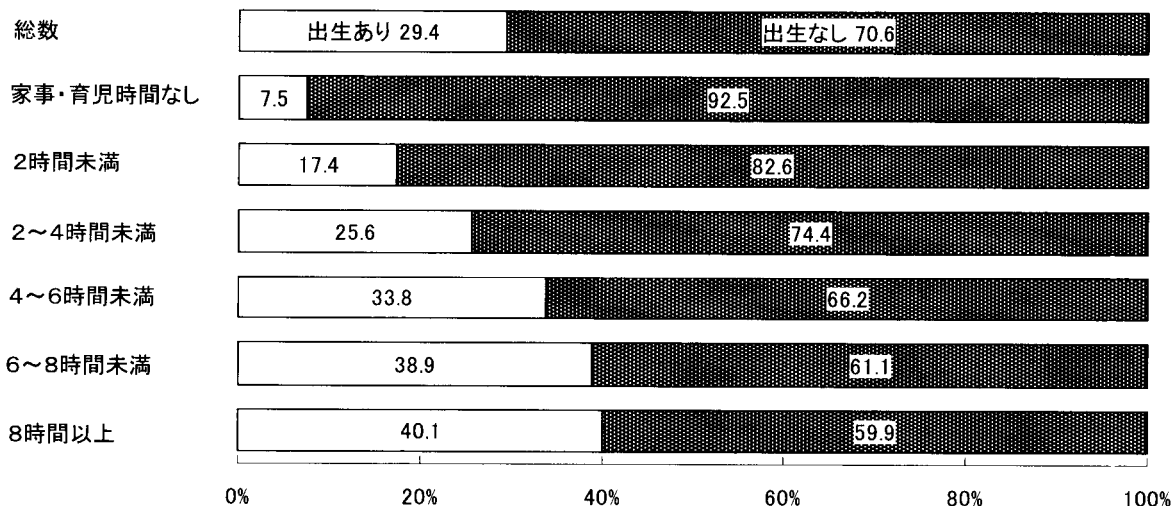
2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上の出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図12 子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの4年間の第2子以降の出生の状況



注:1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 4年間で2人以上の出生ありの場合は、末子について計上している。

4) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。